

マレーシアのイラン人コミュニティとそのグローバル・ネットワーク

——両国間に見られる文化的・人的往来——

平成 27 年入学
派遣先国：マレーシア
塩見 浩之

キーワード：マレーシア，イラン，イスラーム，モスク，対外関係

対象とする問題の概要

筆者の関心はイランの対外関係、及びそれに関わるイラン人の在外コミュニティや、そのグローバル・ネットワークにある。イランの対外関係が論じられる際、基本的には中東・欧米諸国との関係にフォーカスされており、それら以外の地域諸国、特に東南アジアは多くのムスリムを有する地域であるにも関わらず、その関係に関して取り扱った研究は手薄である。地理的な距離や宗派の違いなど様々な要因が考えられるが、イスラーム世界を理解する上でこの関係を無視することはできないだろう。東南アジアでは、マレーシアやインドネシアなどがイスラーム教国として挙げられるが、マレーシアはイスラームを国教として定めている。マレーシアとイランは、両者共にイスラームを標榜する国家であり、その関係を論じることは、両国の対外関係のみならず、イスラーム世界を理解する上でも意義ある視座を提示してくれることが期待できるだろう。

研究目的

本研究では、マレーシアにおけるイラン人コミュニティとそのグローバル・ネットワークに関する調査を行い、それらの実態を明らかにするとともに、それに関わるイランとマレーシアの関係を理解する一助となる情報を得ることを目的とする。先述したように、既存の研究ではイランと東南アジアのイスラーム教国との関係を取り扱った研究は手薄である。在外イラン人に関する研究も同様である。彼らの多くは 1979 年のイラン・イスラーム革命をきっかけに亡命したか、あるいはそのまま現地に留まることを選択した人々であるが、既往研究では欧米の在外イラン人にフォーカスされることが多い。東南アジア、特にマレーシアに関してはイラン人居住区が存在するという情報を得ており、今まであまり取り上げられることのなかったマレーシアにおける彼らの実態、及びマレーシアとイランの関係に関する情報を集めていった。

フィールドワークから得られた知見について

マレーシアではクアラルンプールに滞在し、マレーシア国民大学のゲストハウスに滞在した。マレーシア国民大学と京都大学が共催した国際会議での発表や質疑応答、意見交換を通して、上記に関する様々な情報を得ることができた。イランはイスラームを標榜しているが、マレーシア含むスンナ派諸国では、イランのシーア派思想をイスラームとは認めていないと考える人々が存在する。マレーシアでは反シーア派、反イランの NGO も存在し、両国の関係を取り扱う上で宗派の違いは時に障壁となってい

ることが考えられる。一方で、そのマレーシアにはイラン人コミュニティも存在し、アンパンポイントという場所に多くのイラン人が住むという情報を得られた。また、マレーシア国民大学にも多くのイラン人がイスラーム経済を学ぶために留学しているという。イスラーム経済の大国であるマレーシアは、イラン人にとって魅力的な勉学の間であることが伺える。フィールドワークでは美術館やモスクを訪れた。イスラミックアートミュージアムでは、イランなど様々なイスラーム諸国の文物が見られ、他イスラーム諸国の文化を吸収しようとするマレーシアの積極的な姿勢が見て取れた。また、プトラジャヤのモスクを訪れた際、モスクのスタッフから様々な話を聞くことができた。数千人規模の収容が可能なこのモスクに用いられている美術様式は、イランやモロッコの様式を随所に取り入れているという。宗派を超え、他国のイスラーム的な良さを取り入れようとするマレーシアの姿勢がプトラジャヤのモスクにおいても見られ、イスラーム世界の緩やかなつながりを感じ取ることができた。書店ではイラン、マレーシア、イスラームに関する資料も得ることができた。そして何より、現地に滞在しマレーシアの様々な文化、人との交流などを経験できたことは大きな財産となった。

今後の展開・反省点

今回の滞在は短期間のものであったゆえに、クアラルンプールやプトラジャヤ等のフィールドワークに留まってしまった。現地の人々との会話や、フィールドワークを通して様々な情報や資料を得ることができたが、イラン人の方と話す機会には恵まれなかった。マレーシアはスンナ派の国であるがゆえに、現地の人の話によるとシーア派のモスクは存在しないといい、イラン人の方にインタビューするにはやはりモスクではなくイラン人居住区域に赴く必要があると感じた。しかしながら、アンパンポイントにイラン人居住区が存在するという情報を得ることができたので、こうしたヒントを頼りに、今後の研究に役立てていきたい。今回の滞在で得ることができたすべての情報、資料に関しても同様に、これらを元に、今後の自身の研究をより発展させていきたい。



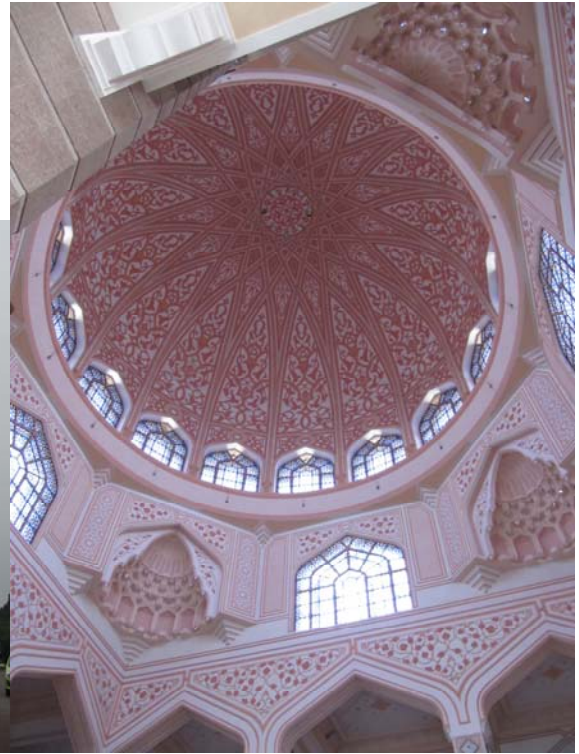
マレーシア国民大学で行われた国際会議



イスラミックアートミュージアムに収められた各国のクルアーン



プトラジャヤのモスク



イランやモロッコなど、各国の様式が
用いられているモスク内部